

意見交換における本部委員の主な意見

□これまでの取組について

- ・工業用水の確保について、今のような渇水時にも生産活動に支障のないよう島田川分水事業を進めていただき感謝する。
- ・防府のインフラ整備について、防府港周辺の道路やガントリークレーンの工事は順調に進んでいる。県道58号線と国道2号との接続も予定どおり進めていただき、その後には三田尻大橋付近の4車線化も検討して欲しい。
- ・バルク戦略港湾が形になってきた。港同士の相乗効果でメリットを最大限にすべく県には指導をお願いする。
- ・「奨学金返還支援制度」は、もっと有効に活用されるよう、補助対象や募集枠の拡大、補助要件の緩和等、見直しをしてはどうか。
- ・「女性創業応援やまぐち株式会社」は、1年間の支援期間では事業化が難しくなっている。支援期間の延長を検討して欲しい。

□今後の産業政策について

〔成長分野〕

- ・自動車産業では車体の軽量化に向けた動きが進んでいる。近県に自動車メーカーの工場がある山口県には地の利がある。部材の軽量化に高い技術を持つ部品メーカーに目を向けてはどうか。
- ・宇部でも石炭由来の水素があるので、この活用について、研究機関の立地等により研究を進めていきたい。

〔中堅・中小業対策〕

- ・住宅関連産業の振興や地域活性化のためには、増加している空き家をリフォームして活用することが有効。リフォームに固定資産税の減免をする等の誘導策を検討して欲しい。
- ・中小企業の後継者不足が深刻化している。

〔人手不足対策〕

- ・工場では、将来の人手不足に備え、女性、退職者及び外国人の活用或いはロボット化等、それぞれのテーマについて研究を始めている。
- ・潜在的な労働力である主婦層の働きやすい環境づくりが必要。企業側の努力も必要だが、子どもを預かってくれる場所の確保や時間の延長等が必要。
- ・人口減少の対策としては、一極集中で新山口駅周辺を開発する等、もっと若い人たちにとって魅力あるまちづくりを大胆に進めていくことが必要。
- ・宇部にある情報系の企業は、Uターン組が多い。こういう企業を応援していきたい。

〔観光分野〕

- ・県内の港には、クルーズ客船や捕鯨船、自衛隊の艦船、貨物船等様々な船舶が寄港するので、「山口県は船の展示場」という見せ方もある。
- ・新幹線駅等の乗降客数は広島や小倉に大きく水をあけられている。まずは降りてもらうことが重要であり、そのための施策を検討して欲しい。
- ・多くの創業者等を輩出する本県は、「ビジネスツーリズムの聖地」となり得る。企業にも大規模会合の開催等で協力して欲しい。

〔農林水産分野〕

- ・農林水産分野の振興に向けては、安心・安全、ヘルシー等、常に消費者の嗜好や流行に合わせて、様々な取組みを継続展開することが必要。
- ・林業は機械化も進み、従事者に必要な能力も変わっている。各地で林業大学校設立の動きもあり、本県でも即戦力を育てる施策を検討されたい。
- ・漁業者の確保は、外国人労働者を受け入れる方法もある。

〔その他〕

- ・指標の達成状況については、グラフ化により実績の推移はわかり易くなったが、指標のA、B、C評価の付け方がわかりにくい。